

企業における地域貢献・CSR活動に 関するアンケートについて

調査結果報告

令和2年11月

社会福祉法人 高松市社会福祉協議会
社協×企業 プロジェクトチーム

目 次

- 1 企業アンケート調査概要 . . . P.2
- 2 企業アンケート調査結果報告 . . . P.3
- 3 企業アンケート調査結果まとめ . . . P.12
- 4 終わりに . . . P.14
- 5 参考資料（調査票） . . . P.15

1 調査概要

(1) 調査目的

高松市内に事業所を有する企業における、地域貢献・CSR活動等の取組状況や課題を把握し、市社協がこれらの企業活動の促進につながる支援を検討するための情報を得ることを目的として実施。

(2) 調査対象

企業名鑑を基に無作為に抽出した高松市内に事業所を有する企業。

(3) 調査項目

社会貢献・CSR活動等に対する取組状況の現状（企業としての考え方、取組実績、社内支援体制等）や今後の課題、市社協に対する要望を調査。（出前講座等）

(4) 調査期間

令和2年9月1日～令和2年9月30日

(5) 調査方法

企業約120社に対し、郵送によるアンケート調査を実施。

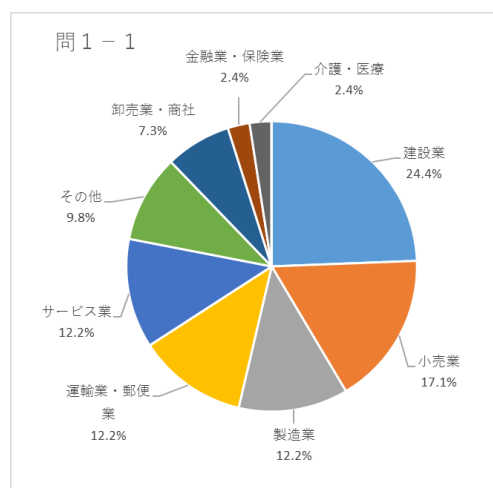
2 企業アンケート調査結果報告

I 貴社の基本情報について

問1-1 貴社の主たる業種は何ですか。

120社中41社(34.2%)から回答をいただき、地域で活動する企業として、地域貢献やCSR活動への高い関心があることが伺える結果となった。そのうち、「建設業」が割合として最も多く、24.4%であった。次いで、「小売業」、「製造業」、「サービス業」が多い結果となり、どの業種でも全体的に万遍なく回答があった。

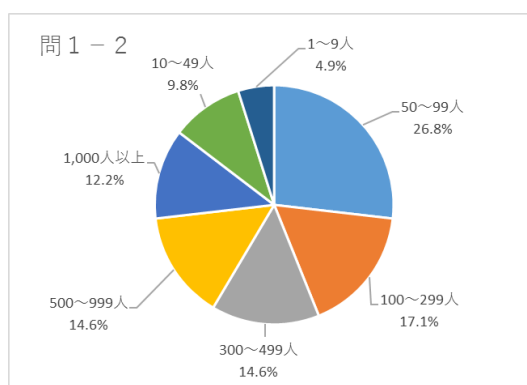
回答番号	回答数	割合(%)
1 農業・林業・漁業	0	0
2 建設業	10	24.4
3 製造業	5	12.2
4 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
5 情報通信業	0	0
6 運輸業・郵便業	5	12.2
7 卸売業・商社	3	7.3
8 小売業	7	17.1
9 金融業・保険業	1	2.4
10 不動産業	0	0
11 宿泊業・飲食サービス業	0	0
12 介護・医療	1	2.4
13 サービス業	5	12.2
14 その他	4	9.8
合計	41	100.0



問1-2 貴社の従業員数は何人ですか。

小規模から大規模の企業まで、様々な規模の企業に回答いただいております。問1-1の結果からも読み取れるように、企業規模に関わらず地域貢献への関心の高さが伺える結果となった。

回答番号	回答数	割合(%)
1 1~9人	2	4.9
2 10~49人	4	9.8
3 50~99人	11	26.8
4 100~299人	7	17.1
5 300~499人	6	14.6
6 500~999人	6	14.6
7 1,000人以上	5	12.2
合計	41	100.0

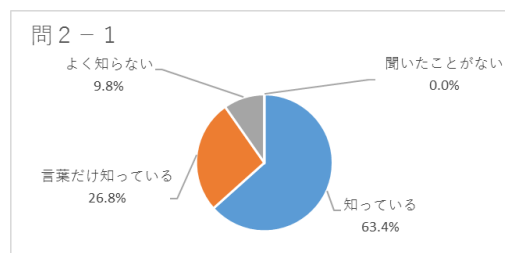


II 社会貢献活動・CSR 活動の取組の有無について

問 2-1 「社会貢献活動・CSR 活動」という言葉を知っていますか。

「知っている」、もしくは「言葉だけ知っている」が合わせて 90% を占めており、域貢献や CSR 活動に対し各企業が高い関心を持っていることが分かる結果となった。

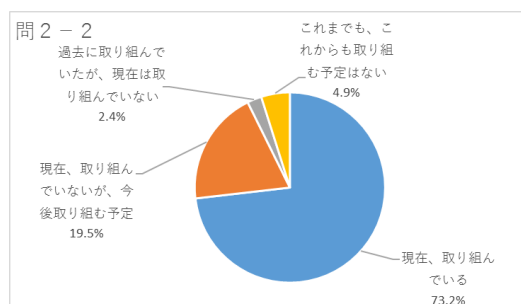
回答番号	回答数	割合(%)
1 知っている	26	63.4
2 言葉だけ知っている	11	26.8
3 よく知らない	4	9.8
4 聞いたことがない	0	0



問 2-2 貴社の社会貢献活動・CSR 活動の取組状況についてお聞かせください。

「現在、取り組んでいる」企業が 73.2%、「現在、取り組んでいないが、今後取り組む予定」の企業が 19.5% と、取組に対し前向きな回答が 92.7% を占める結果となった。「過去に取り組んでいたが、現在は取り組んでいない」、「これまでも、これからも取り組む予定はない」と回答した企業については、社内体制に余裕がない等、経営状況に課題を抱えていることが分かった。

回答番号	回答数	割合(%)
1 現在、取り組んでいる	30	73.2
2 現在、取り組んでいないが、今後取り組む予定	8	19.5
3 過去に取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	1	2.4
4 これまでも、これからも取り組む予定はない	2	4.9
合計	41	100.0



Ⅲ 社会貢献活動・CSR 活動や従業員のボランティア活動支援の取組について

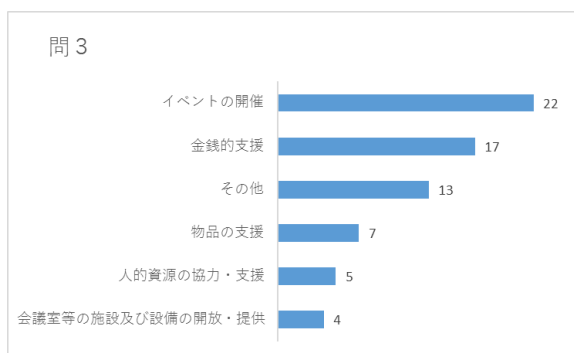
問3 下記を参考に貴社で実施されている主な取組をお書きください。

最も多かった取組は「イベントの開催」で21件であった。次いで「金銭的支援」17件という結果であった。

具体的な取組としては、「イベントの開催」では、自社周辺や近隣地域の清掃活動が多くみられ、「金銭的支援」では、被災地等への募金活動が多く見られた。地域企業がさまざまな取組で地域貢献をしていることがわかる結果であった。

回答番号	回答数
1 金銭的支援	17
2 物品の支援	8
3 会議室等の施設及び設備の開放・提供	4
4 人的資源の協力・支援	5
5 イベントの開催	22
6 その他	13

(複数回答可)



【具体的内容】

1 金銭的支援

- ・地元コミュニティのイベントの協賛金・社社の寄進金・赤い羽根募金等
- ・遊戯協同組合が主となる災害時等の寄付金の協力・24時間テレビへの協賛及び寄付等、お客様からの預かりと従業員の寄付を行っている
- ・地域イベント（スポーツ大会、まつり等）に協賛
- ・自社内で社会貢献基金を設立し、地域で社会貢献活動に取組団体を応援する助成を行っている
- ・行政との懇談会（8市5町）で社会貢献活用を目的に基金贈呈
- ・東日本大震災や豪雨災害などの義援金・支援金を贈呈

(次ページへ続く)

- ・近隣老人クラブ、連合会等へ広告協賛
- ・年1回地元の産業、学術、文化の発展や振興に貢献するため、香川県内で活動する団体及び個人への助成金の贈呈

2 物品の支援

- ・近隣老人会へ夜光チョッキの贈呈（過去に数回程度の実績あり）
- ・養護学校へ車いすを寄贈
- ・災害時における物資支給
県内8市5町と包括連携協定を締結し、申請に応じて物品の支給を行う
- ・企業グループとして、大規模災害発生地域への飲料水及び義援金支援
- ・コロナ禍でのマスクの寄付、放課後等デイサービス事業所への文房具の寄付

3 会議室等の施設及び設備の開放・提供

- ・お祭りの駐車場の貸し出し
- ・会社施設である体育館を社外の方へ一般開放している
- ・地域の防災活動に貢献するために、津波、台風、地震発生時の一時避難場所として駐車場、店舗を開放

4 人的資源の協力・支援

- ・災害時協力支援
- ・企業訪問、職場体験受入れ（小中学生等）
- ・被災地復興支援活動として、被災地の復興支援ボランティアへ参加

5 イベントの開催

- ・毎年海の日に合わせて、漁協から稚魚を購入し、放流するイベントを行っている
- ・会社近隣の河川の清掃、除草作業を単独で実施
- ・運営事業所周辺の定期的な清掃活動
- ・植樹活動として年2回（4月、11月）「アルミ缶を集めリサイクルをし、費用を集め、樹を植える」活動を香川県、まんのう町、当社で官民一体となって行っている
- ・安全運転講習として、自動車の安全装置体験会を実施している
- ・献血車の駐車場所の提供
- ・2020年8月7日開催の88クリーンウォーク四国へ参加し、会社周辺道の早朝30分清掃を実施した。来年度においても参加予定である
- ・年1回綾川町の森林で除間伐や枝打ち等の森林保全活動を行っている
- ・健康講座や運動指導のボランティア活動

（次ページへ続く）

6 その他

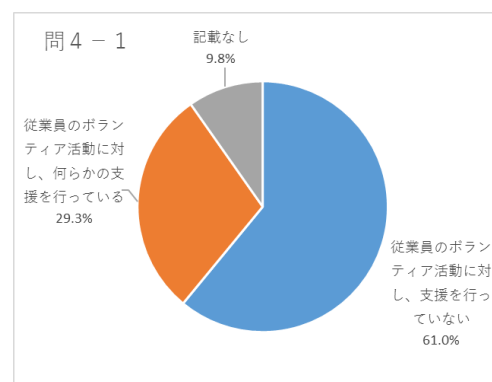
- ・ 社会福祉法人への印刷物の依頼（封筒、年賀状等）
- ・ 子育て世代職員への子どもの行事、病気等での休暇取得に対する支援
- ・ 家族の社内イベント（BBQ 等）への無料参加
- ・ 障害者雇用の促進
- ・ 社内で集めたペットボトルキャップを収集体へ送付している（対応については徳島のグループ会社へ依頼している）
- ・ 自社ビル改修を行った際に、備品の回収および移設工事については社会福祉法人へ委託した
- ・ 年間を通して、小学生から大学生まで幅広い年齢層に対して、金融に関する理解を深めてもらうために職場体験学習や特別授業などを銀行内やそれぞれの学校で行っている
- ・ 地域スポーツ振興や食育、環境活動の実施
- ・ 子育て支援として、ベルマーク付商品の販売を通じた教育施設の充実
- ・ 見守り活動支援として、高松市内における高齢者見守り活動支援を実施している

IV 従業員のボランティア活動への支援状況について

問 4-1 貴社の従業員のボランティア活動への支援状況についてお聞かせください。

従業員のボランティア活動に対して「支援を行っていない」と回答した企業は 6 1.0%であった。問 4-3 にて支援にあたっての課題への回答においても示されているが、社内体制や経営状況により、支援を行う体制が十分整っていないことが伺える結果となった。

回答番号	回答数	割合(%)
1 従業員のボランティア活動に対し、何らかの支援を行っている	12	29.3
2 従業員のボランティア活動に対し、支援を行っていない	25	61.0
記載なし	4	9.8
合計	41	100.0



※1 と回答した企業は問 4-2 へ

2 と回答した企業は問 4-3 へ

問 4-2 貴社として従業員のボランティア活動を促進するために取り組んでいることは何ですか。

問 4-1 で「支援を行っている」と回答した企業に対しての問に対し、「ボランティア休暇制度がある」が最も多かった。また、災害ボランティアに対して交通費や宿泊費を支給するといった「金銭的支援」を行っている企業もあった。

回答番号	回答数
1 ボランティア休暇制度がある	5
2 ボランティアサークル、クラブ等の設置	0
3 活動のために部屋や設備を開放している	0
4 金銭的支援がある	3
5 情報提供している	2
6 その他	4



【具体的内容】

- 1 ボランティア休暇制度がある
 - ・全従業員を対象として、3日のボランティア休暇を付与している
 - ・「社会奉仕活動支援制度」社会貢献活動の支援を目的として、従業員が奉仕活動に参加することを申し出、労使が確認した場合、有給休暇として取得することが可能
 - ・1回3日以上で通算3ヶ月以内の休暇（在職中3回まで分割可能）
- 4 金銭的支援がある
 - ・地元スポーツ団体とのスポンサー契約
 - ・交通費の一部負担
 - ・被災地ボランティア実施時の交通手段と宿泊先の確保
- 5 情報提供している
 - ・社内イントラネットにてイベント開催の周知、参加者の募集等を行っている
- 6 その他
 - ・復興支援ボランティアへの参加を勤務時間としてカウントしている
 - ・ボランティア参加者の昼食代負担や昼食の現物支給を行っている

問 4-3 地域貢献活動や CSR 活動、従業員への支援を行うにあたり、課題等はなにかありますか。

課題として、社内体制に余裕がないことをあげる企業が多く見られた。どう取り組めばよいかわからないという回答があった。また、働き方改革と関連して、業務との両立の困難さをあげている企業もあり、多様化する働き方との兼ね合いが課題としてあることが分かる結果であった。

【課題内容】

- ・ どう取り組んでよいかわからない
- ・ 社内体制に余裕がない
- ・ 労働時間の短縮、有給取得率 UP に取り組んでおり、客離れが進む中、従業員へのボランティア支援まで手が回せない
- ・ 地域との連携方法、地域が何を求めているのか分からない
- ・ 社会貢献はわかるが、地域が求めていることが分からない
- ・ どこから手をつけたらいいのか分からない、コスト UP につながる
- ・ 地域貢献や従業員のボランティア活動の支援促進を行うため、今後は福利厚生制度の見直し等を検討する必要がある
- ・ 会社が社員の個人活動に関与すると業務との線引きが困難となるため（働き方改革の関係で社員の私生活には関与しない方がリスク回避となると考えている）
- ・ グループで取り組んでいる「行動憲章」の理解や意識の統一および継続について、各種教育周知等を通じて行うこと
- ・ 地域貢献や CSR 活動を行う時間がない
- ・ 業務との両立（長期休暇を取得した場合の人員対応など）、交通費等の経費支援をどこまですべきか
- ・ 地域貢献や CSR 活動についてはある程度浸透しているので、特に課題はないと考える
現在は本業を通じた SDG s 活動の深化に取り組んでいる

V 今後、取り組むことができそうな社会貢献・CSR活動について

問5 社会貢献・CSR活動について、どのような取組でしたら今後新たに活動を行うことが可能であると思えますか

「地域活動への参加・協力」が最も多い結果となった。地域企業として、地域活動への参加を意欲的に行っていきたいという前向きな姿勢が分かる結果であった。

回答番号	回答数
1 災害時の物的支援	7
2 災害時の人的支援	10
3 災害時の金銭的支援	8
4 地域活動への参加・協力	21
5 地域福祉向上における支援（移動支援、場所の提供）	6
6 処分となる食料品や物等の提供	4
7 その他	0
8 取り組めそうな内容はない	1

(複数回答可)



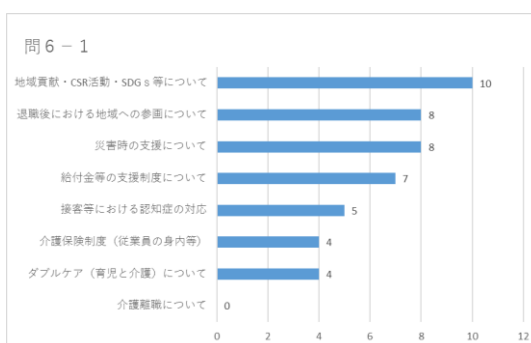
VI 出前講座における意向調査について

問6-1 本会においては現在、企業に向けた「出前講座」を検討しております。下記の内、貴社における職員研修等において興味のあるものはありますか。

「地域貢献・CSR活動・SDGs等」が最も多く、「退職後における地域への参画」、「災害時の支援」が次いで多い結果となっており、企業における地域貢献への取組をさらに深めようとする姿勢が分かる結果であった。また、「接客等における認知症の対応」についても一定数の希望があった。

回答番号	回答数
1 介護離職について	0
2 ダブルケア（育児と介護）について	4
3 介護保険制度（従業員の身内等）	4
4 災害時の支援について	8
5 接客等における認知症の対応	5
6 給付金等の支援制度について	7
7 地域貢献・CSR活動・SDGs等について	10
8 退職後における地域への参画について	8

(複数回答可)



問 6-2 福祉に関わらず、貴社職員研修等の際にご所望のテーマ等ありましたら、ご自由にお書きください。

【記述内容】

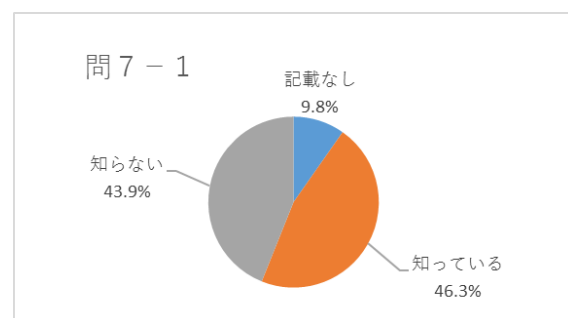
- ・ 帰属意識を向上させるためのマネジメント
- ・ コンピテンシー研修

VII 「高松市社会福祉協議会」について

問 7-1 高松市社会福祉協議会の意義・目的や実際の活動内容をご存知でしたか。

「知っている」、「知らない」がほぼ同数となる結果であった。

回答番号	回答数	割合(%)
1 知っている	19	46.3
2 知らない	18	43.9
記載なし	4	9.8
合計	41	100.0



問 7-2 高松市社会福祉協議会に対するご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください

【記述内容】

- ・ 実際の活動内容がよくわからない もっと市民がわかるようにしてもらえれば
- ・ 毎年利益の 5%を社会貢献に役立てようと寄付、協賛、奨学金制度の募集等をさせていただいており、過去にもそちらへ相談させていただいたものもあると記憶しているが、（車いすの寄贈？）市役所へ相談してくださいと断られたことがある 社協としても CSR 活動を行うようになったのか

3 企業アンケート調査結果についてのまとめ

① 高松市内企業における地域貢献活動の特徴と傾向

今回の調査については、高松市内に事業所を有する企業における地域貢献活動・CSR活動等への取組状況や課題を把握し、今後高松市社協が企業活動の促進に繋がる支援を検討するための情報を得ることを目的に実施した。

回答をいただいた企業のうち、すでに何らかの地域貢献活動やCSR活動を実施している企業が73.2%、また、これから取り組む予定としている企業も19.5%と全体の9割近くの企業が活動を行っている（これから予定している）ことが分かった。地域貢献への高い関心と肯定的な考えを多くの企業が持っていることが分かる結果であった。

取組内容としては、自社周辺の清掃活動や寄付・基金の設立等の金銭支援、自社スペース（体育館や駐車場等）の提供など、ヒト・モノ・カネ・技術といった自社の持つ資源を活用した様々な活動を企業規模及び事業内容、地域の状況に合わせて行っている。

また、地域に密着した貢献活動を行うことにより地域との関係性を高めながら活動を行っている傾向も伺うことができた。

② 高松市内企業における地域貢献活動を行ううえでの課題

今回のアンケート調査で高松市内に事業所を有する多くの企業が地域貢献活動に対し高い関心と肯定的な考え方を持っていることが分かった。しかし、その一方では慢性的な人材不足、多様な働き方への対応（働き方改革）、業界の客離れなど、地域貢献活動に対してヒトやカネをさけるほど社内体制に余裕がないことを課題に挙げる企業が多くみられた。

新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとした昨今の厳しい社会情勢下の中で経営改革等を迫られている企業が地域貢献活動へ高い関心と理解を持っているものの、そこにパワーをさけるだけの余裕がないことが伺える結果であった。

しかし、その中でも従業員のボランティア活動に対し企業として一定の支援を行っている企業や継続して地域貢献活動を行っている企業もみられ、厳しい経営環境の中でも可能な限り地域貢献活動を促進しようとしている姿勢を伺うことができた。また、地域貢献活動をしたいが、何から手をつければよいかわからない、地域が何を求めているかわからないといったことを課題に挙げている企業も多くみられ、そこに対して高松市社協として情報提供等の支援や連携に取り組む必要があるのではないかと考えられる。

③ アンケート結果を受けての高松市社協に求められる今後の取り組み

高松市社協を知っているかという質問に対して半数の企業が「知らない」との回答であり、また、具体的にどのような事業を行っているかもっとわかるようにしてほしいとの要望があるなど、高松市社協の活動が十分に知られていないことが分かった。活動の見える化や情報発信、出前講座を積極的に行うなど、地域と企業をつなげる取組を丁寧に行っていききたい。

②でも示したように、地域がなにを求めているかわからない、何からすればよいかわからないといったことを課題としている企業が多くみられた。そのため、社会福祉協議会の地域ネットワークをいかした、各分野で活躍するコミュニティ活動推進団体等との交流の機会や、活動のマッチングの場を積極的に設定し、多様な主体の自立的なネットワークをつくることにより、地域と企業を繋げ、地域が抱える課題（人ギレ、ネタギレ、息ギレ）の解決に繋がるような、まちづくりの好循環を創りだしていききたい。

4 終わりに

今回、「高松市内の企業における地域貢献・CSR活動に関するアンケート調査」を初めて行い、上述のとおり、企業の地域貢献に対する活動の実施状況把握はもとより、何よりあらためて企業の地域に対する貢献意識の高さを認識することができました。

企業の地域貢献が求められる背景には、企業にとっても地域は存立基盤であり、地域の安定・強化は経営基盤強化のためにも重要であると考えられており、また時代の流れとともに、企業の社会的責任がより一層求められていることが要因であると考えられます。このため、企業が持つ経営資源やネットワーク、ビジネス的手法や考え方は、その活動の自立性・持続性に資することなどから、企業の地域貢献活動への参画・関与が期待されているところであります。本調査では、現状、何が出来るのか、地域が何を望んでいるのか、そのためにどうすればいいのか等、さまざまな課題・疑問を企業が抱えているという現状を把握することができました。

高松市社会福祉協議会は地域福祉活動の推進を担う中核的組織であります。近年、地域社会を取り巻く状況は、少子超高齢化社会の進行と人口減少社会の到来、さらには家庭や地域における相互扶助機能の低下等も加わり、地域の複雑多様化した生活課題・地域課題が多く顕在化しています。このような中で、本会は地域住民のみならず、地域の一角を担う企業にとっても有益な存在にならなければならないと強く感じるところであります。今回の調査を生かし、地域福祉の発展に資する取組みを検討してまいります。

最後になりますが、本調査を実施するにあたり、多数の企業様から御協力いただきましたことに対し、心より御礼を申し上げます。

5 参考資料（アンケート調査票）

高松市内の企業における地域貢献・CSR活動に関するアンケート調査ご協力をお願い

I 貴社の基本情報について

問1-1 貴社の主たる業種はなんですか。（該当する番号に○を付けてください）

- ① 農業・林業・漁業 ② 建設業 ③ 製造業 ④ 電気・ガス・熱供給・水道業
⑤ 情報通信業 ⑥ 運輸業・郵便業 ⑦ 卸売業・商社 ⑧ 小売業
⑨ 金融業・保険業 ⑩ 不動産業 ⑪ 宿泊業・飲食サービス業 ⑫ 介護・医療
⑬ サービス業 ⑭ その他(具体的な業種: _____)

問1-2 貴社の従業員数(非正規・パート・派遣社員等も含む)は何人ですか。
(該当する番号に○を付けてください)

- ① 1～9人 ② 10～49人 ③ 50人～99人 ④ 100～299人
⑤ 300～499人 ⑥ 500～999人 ⑦ 1,000人以上

II 貴社における社会貢献・CSR活動の取組の有無について

問2-1 「社会貢献・CSR活動」という言葉を知っていますか。（該当する番号に○を付けてください）

- ① よく知っている
② 言葉だけ知っている
③ よく知らない
④ 聞いたことがない

問2-2 貴社の社会貢献・CSR活動の取組状況についてお聞かせください。
(該当する番号に○を付けてください)

- ① 現在、取り組んでいる
② 現在、取り組んでいないが、今後取り組む予定
③ 過去に取り組んでいたが、現在は取り組んでいない
④ これまでも、これからも取り組む予定はない

『問2-2』で「①」、「②」と回答した方は引き続き裏面の問3以降をご回答ください。
『問2-2』で「③」、「④」と回答した方は裏面の問4以降をご回答ください。

Ⅲ 貴社における社会貢献・CSR活動や従業員のボランティア活動支援の取組内容について

問3 下記を参考に、貴社で実施されている主な取組をお書きください。(最大3項目)

社会貢献やCSR活動における具体的活動例

- 1 金銭的支援(寄付金、協賛金、義援金、奨学金、団体助成、研究助成等)
- 2 物品の支援(自社商品の提供、災害時等における救援物資、福祉機器(車いす等)等)
- 3 会議室等の施設及び設備の開放・提供(会議室、ホール、車両等)
- 4 人的資源の協力・支援(行事への協力、従業員の派遣、専門的な技術の提供等)
- 5 イベントの開催(演奏会、講演会、清掃・美化活動、植林等)
- 6 その他(子ども・子育て世代支援、障がい者支援、ベルマーク運動等)

	項目	具体的内容(いつ(頻度)、どこで、誰に(と)、どのような活動を)
(例)	清掃・美化活動	年2回(春と秋)程度、自社近辺の河川敷の掃除を地域の方々と一緒にしている。 (毎年、約30名参加)
1		
2		
3		

Ⅳ 貴社における、従業員のボランティア活動への支援について

問4-1 貴社の従業員のボランティア活動への支援状況についてお聞かせください。
(該当する番号に○を付けてください)

- ① 従業員のボランティア活動に対し、なにかしらの支援を行っている
- ② 従業員のボランティア活動に対し、支援を行っていない

『問4-1』で「①」と回答した方は引き続き問4-2以降をご回答ください。
『問4-1』で「②」と回答した方は問4-3以降をご回答ください。

問4-2 貴社として従業員のボランティア活動を促進するために取り組んでいることは何ですか。(複数回答可)

- ① ボランティア休暇制度がある (具体的内容 :)
- ② ボランティアサークル・クラブ等の設置 (具体的内容 :)
- ③ 活動のために部屋や設備を開放している (具体的内容 :)
- ④ 金銭的支援がある (具体的内容 :)
- ⑤ 情報提供をしている (具体的内容 :)
- ⑥ その他 (具体的内容 :)

VII 「高松市社会福祉協議会」について

以下、お読みの上、ご回答をお願いします。

「社会福祉協議会」とは社会福祉法109条に「地域福祉の促進の担い手」として位置づけられ、地域福祉の促進を図ることを目的とした、営利を目的としない民間組織です。

それぞれ地域で抱えている課題や問題を地域住民と一緒に解決し、誰もが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指して、福祉サービスや相談・援助、ボランティアや住民活動の支援、共同募金運動への協力等の活動を行っています。

問7-1 高松市社会福祉協議会の意義・目的や実際の活動内容をご存じでしたか。

- ① 知っている
- ② 知らない

問7-2 高松市社会福祉協議会に対するご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

VIII 貴社の社会貢献・CSR活動の紹介について

問8 最後になりますが、本会では企業が行っている社会貢献・CSR活動等の取組みを積極的に紹介させていただきたいと考えております。本会のホームページ等での貴社の社会貢献・CSR活動の紹介についてお聞かせください。紹介させていただく場合は、事前にご相談させていただきます。

- 掲載について、
- ① 同意する
 - ② 同意しない

貴社名 :

所在地 :

問合せ先 : 【ご連絡先】 【担当課】 【担当者】

調査は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。